

データヘルス計画書（健保組合共通様式）

計画策定日：平成27年3月30日

最終更新日：平成27年3月30日

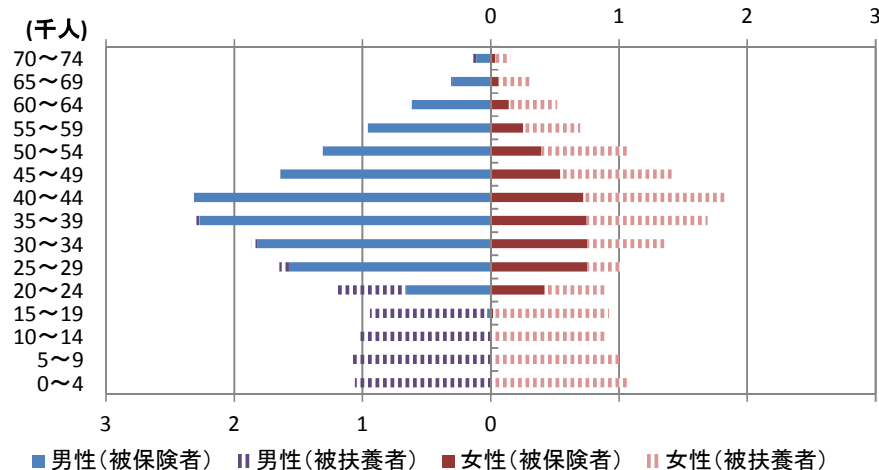
関西文紙情報産業健康保険組合

STEP 1 - 1 基本情報

「全健保組合共通様式」

組合コード	62261
組合名称	関西文紙情報産業健康保険組合
形態	総合
被保険者数（平成27年度予算 注） * 特例退職被保険者を除く。	18,650名 男性73.6%（平均年齢41.3歳）* 女性26.4%（平均年齢38.6歳）*
特例退職被保険者数	0名
加入者数（平成27年度予算 注）	33,508名
適用事業所数	504カ所
対象となる拠点数	851カ所
保険料率（平成27年度 注）*調整を含む。	100%
	全体 被保険者 被扶養者
特定健康診査実施率（平成25年度）	66.5% 85.8% 23.9%
特定保健指導実施率（平成25年度）	9.0% 9.2% 3.4%

		健康保険組合と事業主側の医療専門職 （平成27年3月末見込み）	
		常勤	非常勤
健保組合	顧問医	1	5
	保健師等	3	1
事業主	産業医	0	74
	保健師等	0	0



(注) 記載要領参照

- ・加入者は被保険者約18,650人、被扶養者は約14,900人。
- ・被保険者は男性が74%と多い。特に30代、40代が多い構成である。被扶養者は子供を除くと女性が多い。
- ・健康診断については、当組合の健康管理室の他、全国に契約機関を設け組合員の受診の利便性を図っている。
- ・また、契約健診機関の無い地域の方々には補助金で対応している。

	予算額（千円） （平成27年度 注）	被保険者一人当たり金額 （円）
保健事業費	特定健康診査事業費	703
	特定保健指導事業費	216
	保健指導宣伝費	1,161
	疾病予防費	10,369
	体育奨励費	83
	直営保養所費	103
	その他	5,158
	小計 …a	17,793
	経常支出合計（千円） …b	8,362,274
	a/b×100（%）	3.97

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

健保組合の取組															
予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因			
特定健康診査事業	1	特定健診(被保険者)	【目的】生活習慣病の予防、改善を図る 【概要】メタボリックシンドロームの予防、改善に重点を置いた生活習慣病予防	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	15,955	[25年度] 受診者 7,173名 受診率 85.8%	対象者全員に受診券を発行し、近総協共同事業の巡回健診の案内を同送。	未受診者への再アプローチ方法	4
	1	特定健診(被扶養者)	【目的】生活習慣病の予防、改善を図る 【概要】メタボリックシンドロームの予防、改善に重点を置いた生活習慣病予防	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員		[25年度] 受診者 971名 受診率 23.9%	対象者全員に受診券を発行し、近総協共同事業の巡回健診の案内を同送。	・未受診者への再アプローチ方法 ・被扶養者への周知不足	4
特定保健指導事業	3	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドロームの原因である生活習慣の改善指導 【概要】特定健診での基準対象者に対し、特定保健指導(面談等)を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	3,408	[25年度] 動機付け支援 被保険者 57名、被扶養者 0名 積極的支援 被保険者 101名、被扶養者 2名	・利用者負担なし ・一部の契約健診機関では、健診当日に初回面談を実施	・周知不足 ・事業所への訪問指導の拡大等の取組み ・生活習慣病の危険度認識の希薄性	2
保健指導宣伝	4	健康情報提供	【目的】健康情報・健保事業に関する情報等の提供 【概要】①機関誌「健保だより」の配布②ホームページ運営③事務説明会・健康づくり講演会の開催④育児図書・健康保険のしおりの配布	被保険者	全て	男女	0	～	74	全員	4,885	毎年継続実施中	・紙媒体による年2回の定期的な情報発信 ・ホームページによるタイムリーな情報発信	全保険者あて配布の機関誌は年2回の発行のためタイムリー性に欠け、ホームページは全被保険者等に届かないことの改善	4
	3	医療費通知	【目的】医療費の通知 【概要】4ヵ月毎に通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1,336	毎年継続実施中	医療費額の認識と請求錯誤(疑)情報の収集	特になし	5
	3	ジェネリック医薬品の通知	【目的】ジェネリック医薬品の利用促進 【概要】8ヵ月毎に通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	基準該当者	360	8ヵ月毎に実施 917人に通知	具体的な削減額の情報提供	後発医薬品に対する信頼度	3
	3	健康者表彰・高齢健康者・健康家庭を表彰	【目的】健康意識の向上 【概要】前年の未受診者を表彰	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	基準該当者	8,755	毎年継続実施中 平成26年度 健康家庭 38件 高齢健康者 9件 健康者表彰1,340件	医療機関に一年間未受診の健康者を表彰(記念品の贈呈)	表彰(記念品贈呈)方法の検討	4
	1	定期健診	【目的】健康管理のために実施 【概要】事業主が行う定期健診として実施・費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	51,480	[25年度] 健康管理室受診者 1,416名(本人1,408人 家族8名) 健康管理室外受診者 5,968名(本人5,916名 家族52名)	当該健診と婦人科健診が同時に受診できる医療機関を順次契約中(組合補助直接支払)	データ分析のため全(健康管理室及び他健診機関)健診データを登録する新システム変更にかかる高額経費	5

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

疾病 予 防	1	生活習慣病健診	【目的】生活習慣病予防のために実施 【概要】事業主が行う定期健診と併せて共同実施・費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	基準 該当者	76,176	〔25年度〕 健康管理室受診者 2,762名 (本人2,679名 家族83名) 健康管理室外受診者 3,977名 (本人3,875名 家族102名)	当該健診と婦人科健診が同時に 受診できる医療機関を順次契約中 (組合補助直接支払)	・データ分析のため全(健康管理 室及び他健診機関)健診データ を登録する新システム変更にかかる 高額経費 ・平成27年度の組合補助額改正 による受診者減少を危惧	5
	1	1泊ドック	【目的】がんなどの疾病の早期発見のために実施 【概要】費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	基準 該当者	1,641	〔25年度〕 受診者 26名 (本人22名 家 族4名)	当該ドックと婦人科健診が同時に 受診できる医療機関を順次契約中 (組合補助直接支払)	・データ分析のため全(健康管理 室及び他健診機関)健診データ を登録する新システム変更にかかる 高額経費 ・平成27年度の組合補助額改正 による受診者減少を危惧	5
	1	総合健診(日帰り ドック)	【目的】がんなどの疾病の早期発見のために実施 【概要】費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	基準 該当者	58,330	〔25年度〕 受診者 1,686名 (本人 1,521名 家族165名)	当該健診と婦人科健診が同時に 受診できる医療機関を順次契約中 (組合補助直接支払)	・データ分析のため全(健康管理 室及び他健診機関)健診データ を登録する新システム変更にかかる 高額経費 ・平成27年度の組合補助額改正 による受診者減少を危惧	5
	1	婦人科健診	【目的】乳がん・子宮頸がんの早期発見のための 実施 【概要】費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	女性	35	～	74	基準 該当者	1,650	〔25年度〕 受診者 669名 (本人406名 家族263名)	当該健診の受診環境を考慮した契 約機関を増設中	健診に対する抵抗感	4
	5	メンタルヘルスカウン セリング	【目的】心身の健康づくりのために実施 【概要】電話・面接によるメンタルケアを実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1,188	〔25年度〕 面談者 2名 電話相談 55件	相談件数は減少傾向で対象者の 不安解消や重症化防止に貢献	傷病認知・相談行動への抵抗感	4
	7	インフルエンザ予防 接種	【目的】季節性疾患等の予防 【概要】費用補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	7,000	〔25年度〕 6,802名 (内 被扶養者 3,242 名)	冬場の感染患者の重症化予防	特になし	3
	7	歯周病予防	【目的】歯周病予防 【概要】歯磨きセットの購入斡旋	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	〔25年度〕 斡旋数 497セット	特になし	・将来的な歯科健診の実施 ・財政状況による組合補助の見合 わせ	
	7	家庭常備薬の斡 旋	【目的】傷病の早期対応、セルフケアを促すため に実施 【概要】常備薬購入斡旋	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	〔25年度〕 斡旋数 2,378名 斡旋品目 92種類	家庭内の常備薬として安価で購入	財政状況による組合補助の見合 わせ	

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

「全健保組合共通様式」

体育奨励	7	健康ウォーキング	【目的】運動による健康増進推奨 【概要】健康ウォーキング実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1,000	〔25年度〕（年2回実施） 参加者295名	目標達成者に記念品を贈呈	・更に魅力ある事業にするための WEB上のシステムを検討 ・3ヵ月間の期間継続が困難	2
	7	水泳プール利用券 交付	【目的】健康増進のための運動機会の提供 【概要】健保連大阪連合会の事業に参加し、 共通入場割引券を交付（5施設）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	平成25年度 発券枚数 646枚	家庭で参加が可能（健康増進）	特定（関西）地区の在住者のみ が対象範囲	
	7	梨狩り・みかん狩り のハイキング利用 券の交付	【目的】健康増進のためのリフレッシュ機会の提 供 【概要】特定農園等と契約し割引券交付	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	0	平成25年度 発券枚数 228枚	家族で参加が可能（健康増進）	特定（関西）地区の在住者のみ が対象範囲	
直 営 保 養 所															
そ の 他	7	契約保養所	【目的】加入者の健康保持増進及び保養 【概要】かんぼの宿、ダイワロイヤル、他2施設と は直接契約し利用者に補助金を交付 その他、JTB他旅行会社とも契約し利用補 助金を交付	被保険者 被扶養者	全て	男女	4	～	74	全員	1,350	被保険者・被扶養配偶者 1人1泊に付き3,000円 その他、1泊 2,000円 一行程2泊まで 旅行会社の申込の場合 1人1泊に付き2,000円 一行程2泊まで（年間2回） 年間 延べ503人	利用施設が全国にある		4
（ 予 算 措 置 な ）															

STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

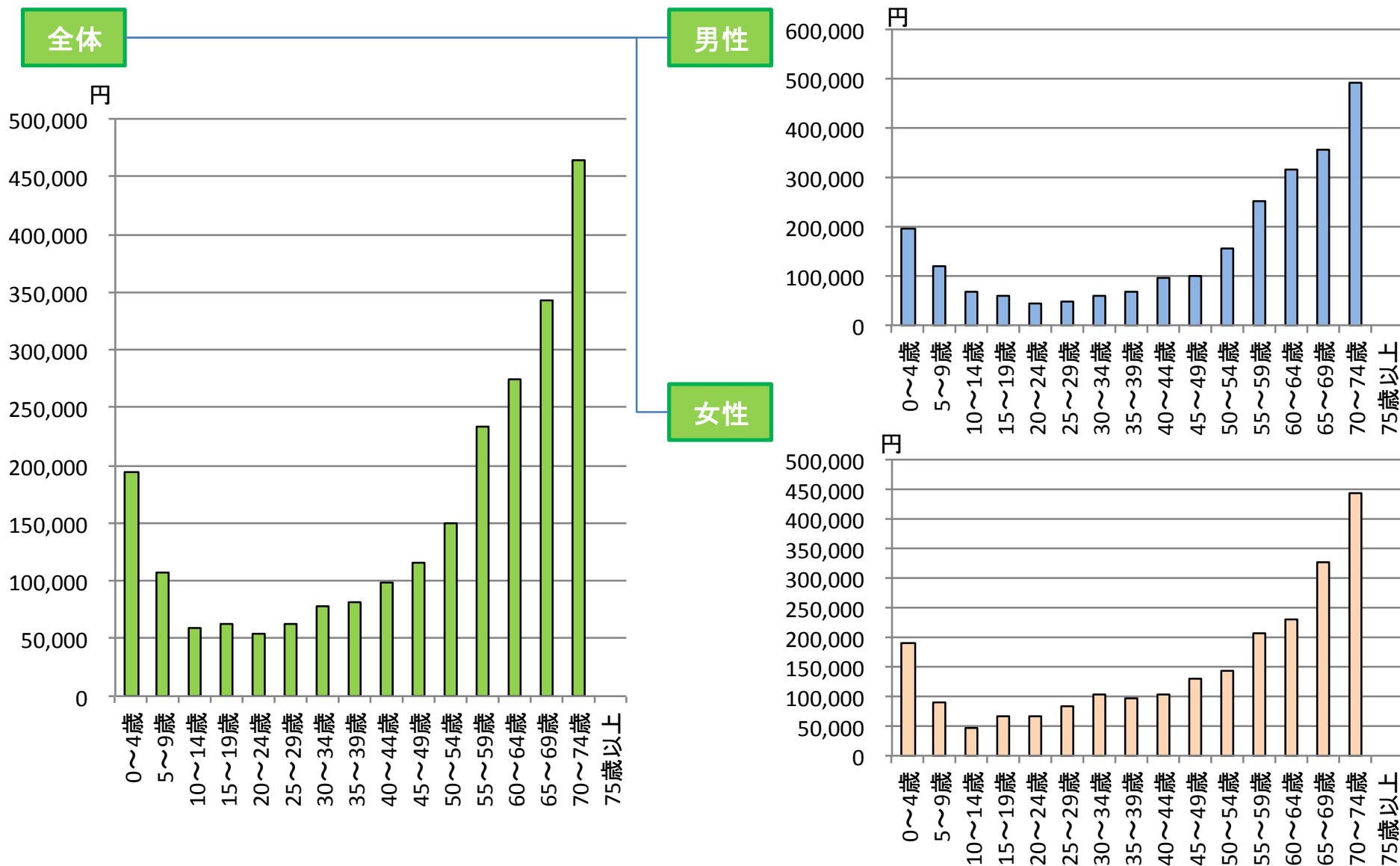
「全健保組合共通様式」

事業主の取組									
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同実施	
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因		
健康管理事業推進委員会	【目的】 各事業所から意見を聞き、保健事業の立案・実施に反映させる 【概要】 各業種、業界の代表者と健保組合（医師・保健師を含む）が保健事業について協議する	被保険者	男女	18	～	74	年1回～2回の開催	・算定基礎届説明会と同時に講演会を実施 ・医学的な講演は好評	委員会開催日程の調整

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

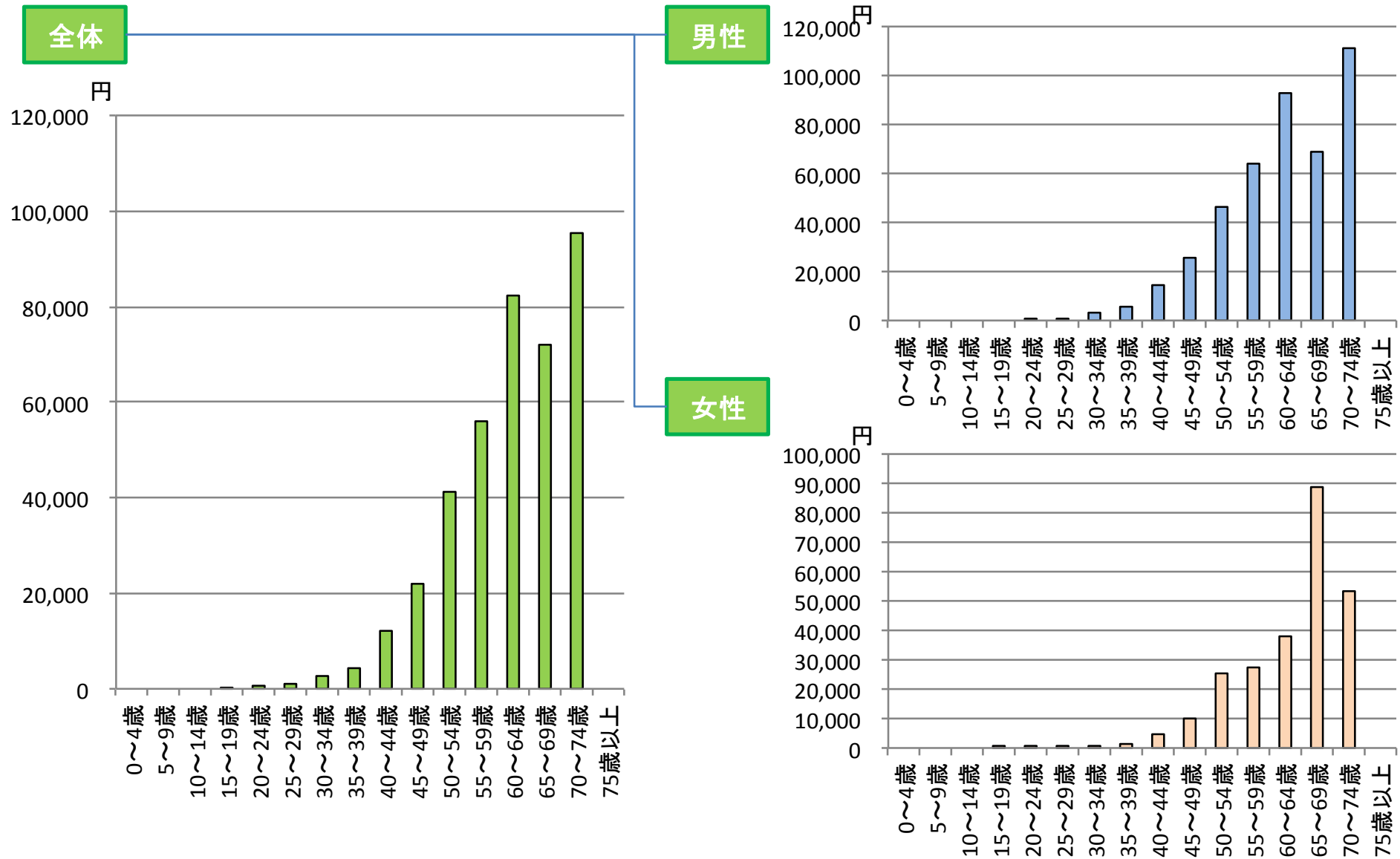
注2) 1: 39%以下 2: 40%以上 3: 60%以上 4: 80%以上 5: 100%以上

STEP 1 - 3 基本分析で現状を把握する ①レセプト（コスト）分析の概要



年代別医療費（全体）一人当たり

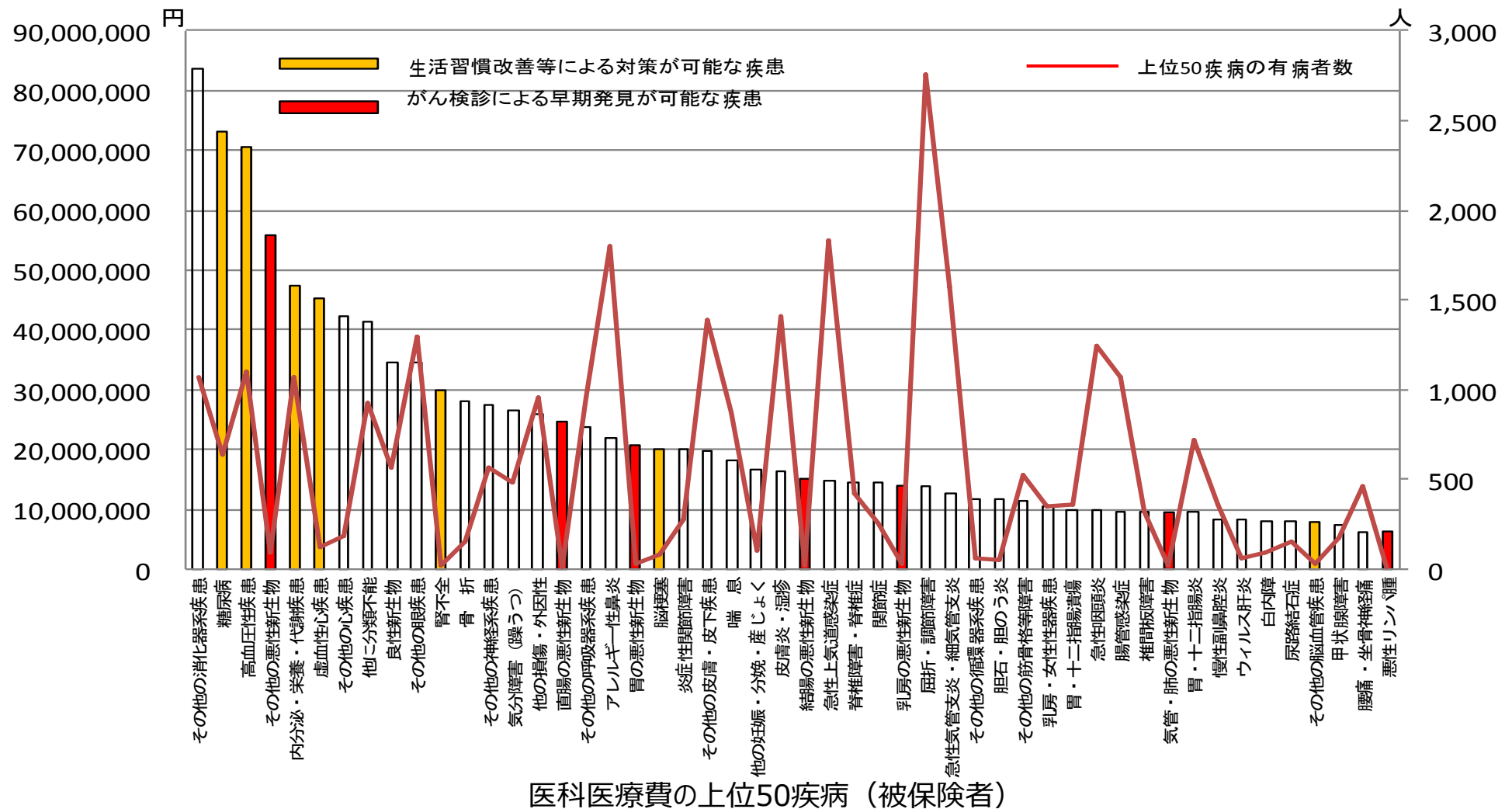
STEP 1 - 3 基本分析で現状を把握する ①レセプト（コスト）分析の概要



生活習慣病の年代別一人あたり医療費（被保険者）一人当たり

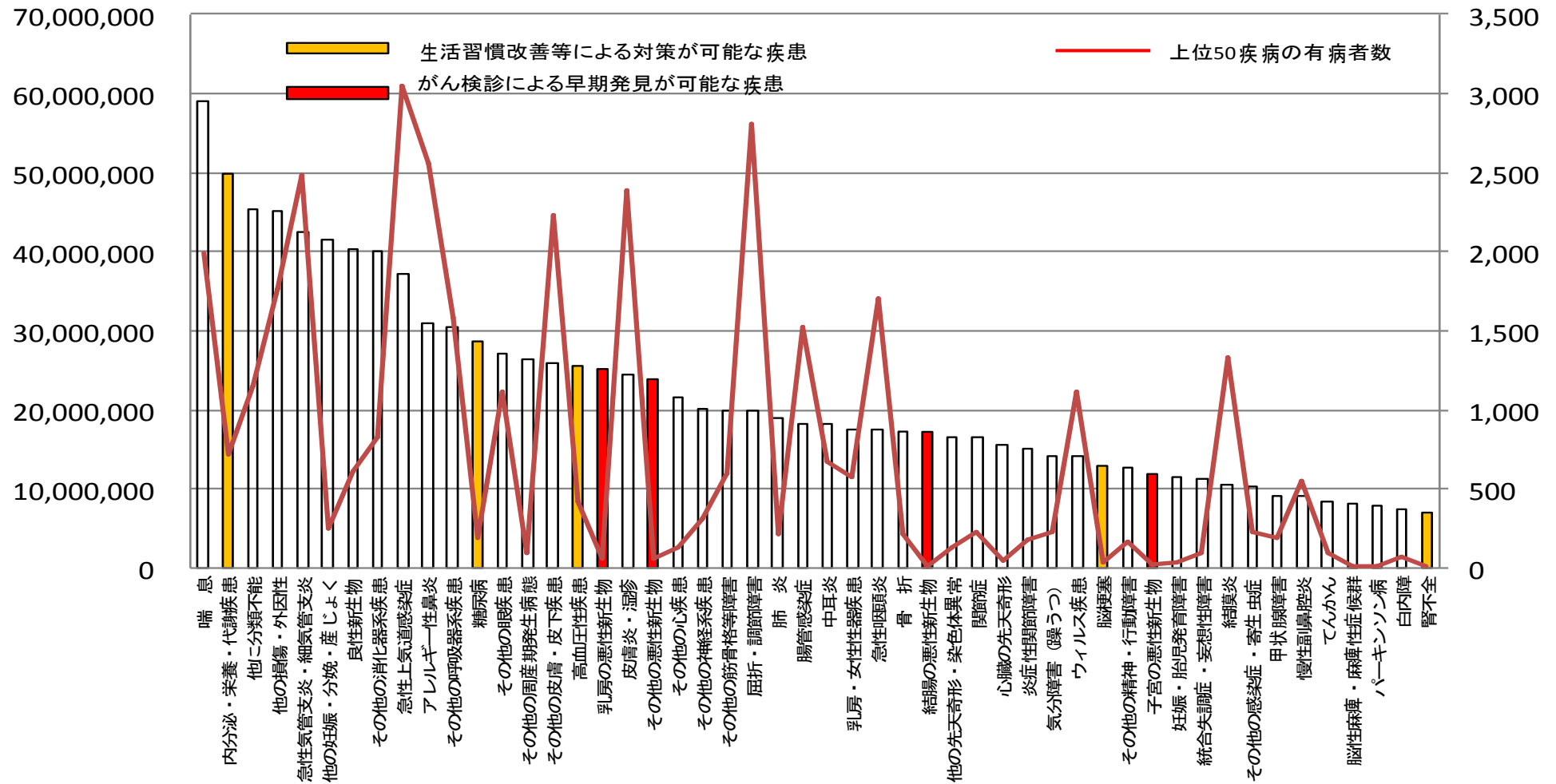
- ・55歳から急激に医療費が高くなっている。
- ・男性・女性ともに同じ傾向がある。

STEP 1 - 4 基本分析で現状を把握する ①レセプト（コスト）分析の概要



- ・糖尿病や高血圧性疾患といった生活習慣病の医療費が高いため、生活習慣病予備軍の時から保健指導を実施する必要があると思われる。
- ・その他、悪性新生物も大きな医療費を占めている。これらはがん検診によって早期発見が可能な疾患である。
 （がん検診によって、早期発見・早期治療が可能であるので、がん検診を充実させる事が医療費を下げる大きなポイントであると思われる。）
- ・また、急性気管支炎や細気管支炎など呼吸器系疾患の罹患者数が非常に多いため対策が必要と思われる。

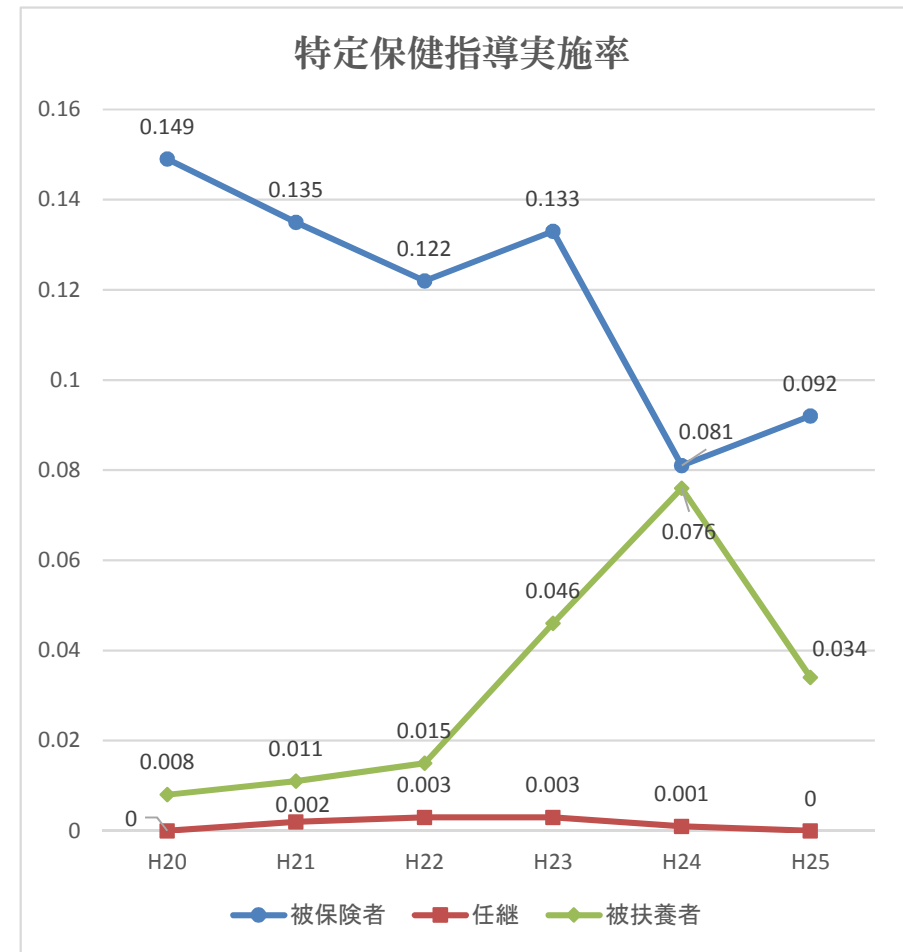
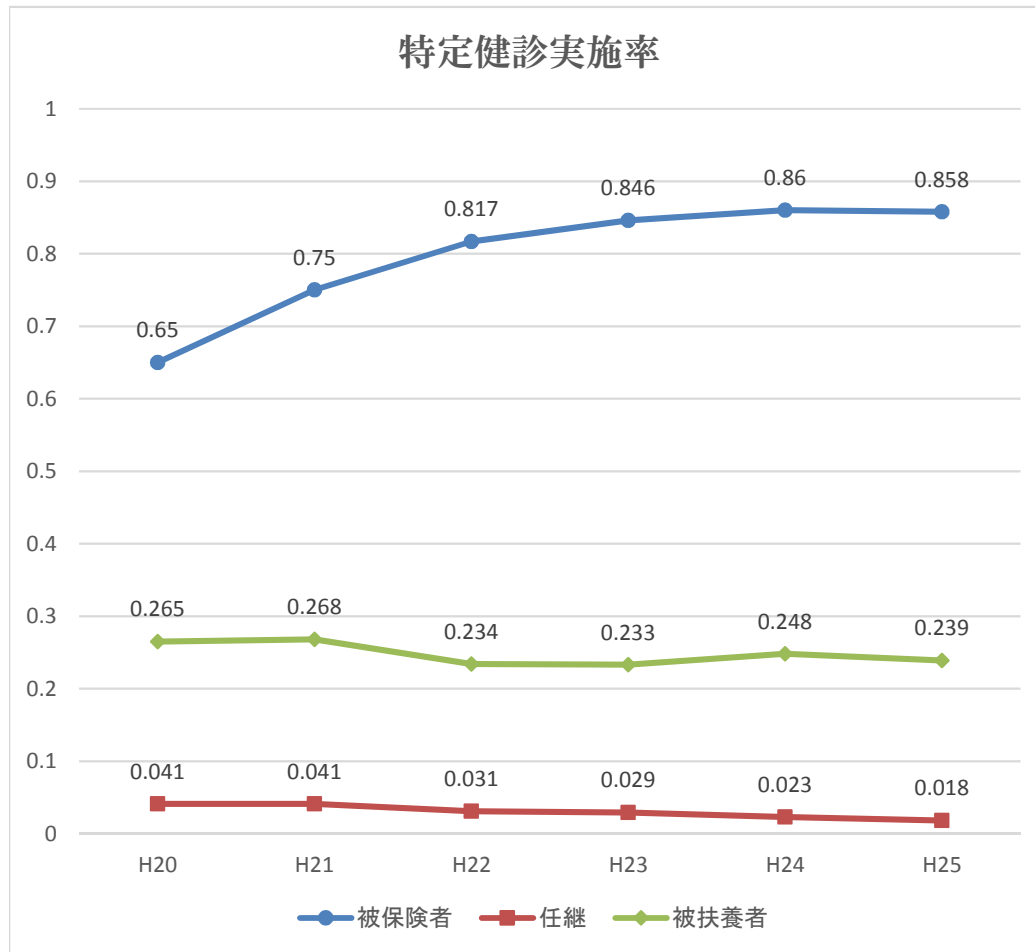
STEP 1 - 5 基本分析で現状を把握する ①レセプト（コスト）分析の概要



医科医療費の上位50疾病（被扶養者）

- ・被扶養者においても被保険者とほぼ同じであるが、被扶養者は加えて乳がんの医療費も上位になっている。
- ・被扶養者で顕著なのは喘息を筆頭に呼吸器系疾患の医療費並びに罹患者数が多い。

STEP 1 - 6 基本分析で現状を把握する ②健診（リスク）分析の概要



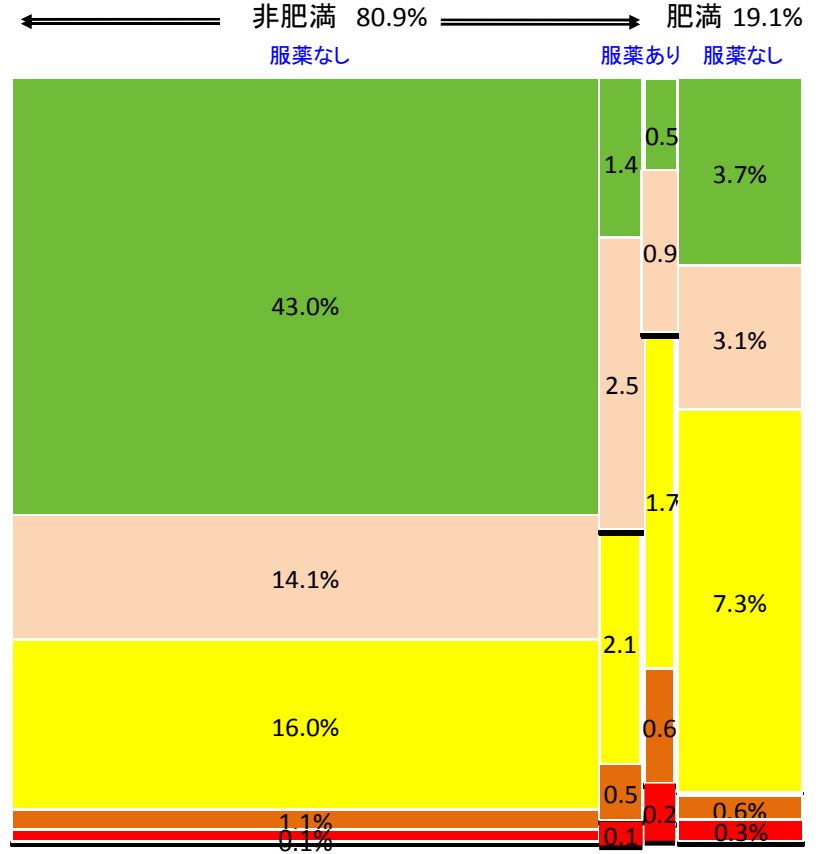
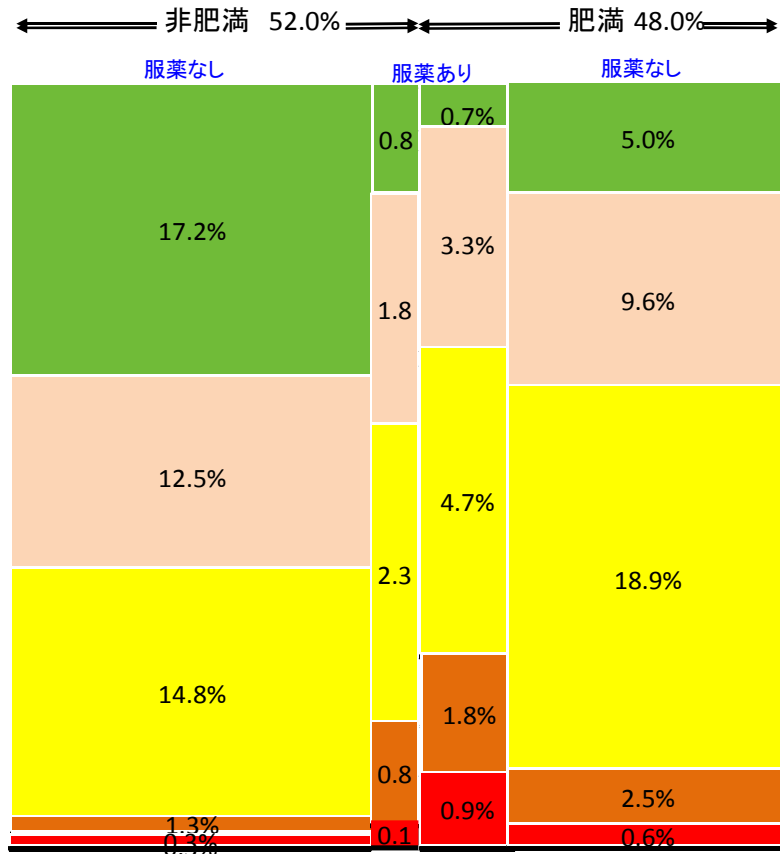
特定健診・特定保健指導の受診率

- ・特定健診について被保険者の受診率は年々増加してきたのに対し、被扶養者は当初よりも減少傾向にある。未受診者に対する対策が必要と思われる。
- ・特定保健指導も低迷が続いている。今後は健康管理室を中心に積極的に指導をしていく事が重要と思われる。

STEP 1 - 7 基本分析で現状を把握する ②健診（リスク）分析の概要

男性

女性



健診結果のリスク階層化（被保険者）

STEP 1 - 7 基本分析で現状を把握する ②健診（リスク）分析の概要

全体

	血圧			血糖			脂質		
	服薬なし	服薬あり	計	服薬なし	服薬あり	計	服薬なし	服薬あり	計
リスク無	5,665	744	6,409	4,873	460	5,333	4,310	799	5,109
低リスク	923	294	1,217	2,395	626	3,021	709	251	960
中リスク	677	311	988	154	165	319	2,508	396	2,904
高リスク	238	93	331	61	125	186	—	—	—
超高リスク	31	7	38	38	70	108	—	—	—

リスク無	4,882	631	5,513	4162	370	4532	3,667	654	4,321
低リスク	800	246	1,046	2,122	526	2,648	670	225	895
中リスク	607	264	871	143	148	291	2,189	342	2,531
高リスク	217	76	293	58	113	171	—	—	—
超高リスク	27	6	33	36	64	100	—	—	—

リスク無	783	113	896	711	90	801	643	145	788
低リスク	123	48	171	273	100	373	39	26	65
中リスク	70	47	117	11	17	28	319	54	373
高リスク	21	17	38	3	12	15	—	—	—
超高リスク	4	1	5	2	6	8	—	—	—

検査項目別リスク階級人数

		検査値 リスク無	検査値 低リスク	検査値 中リスク	検査値 高リスク	検査値 超高リスク
血圧(上/下)	mmHg	～129/～84	130/85	140/90	160/100	180/
空腹時血糖	md/dl	～99	100～	126～	160～	
HbA1c(JDS)	%	～5.1	5.2～	6.1～	6.6～	7.6～
HbA1c(NGSP)	%	～5.5	5.6～	6.5～	7.0～	8.0～
中性脂肪	mg/dl	～149	150	300～		
HDL	mg/dl	40～	～39	～34		
(LDL)	mg/dl			(140～)		

※ 厚生労働省 標準的な健診・保健指導に関するプログラム(確定版)、各種学会ガイドライン等を基にリスク度を設定

リスク判定基準

リスク判定基準に基づき健診結果分析をしたところ、生活習慣病の高リスク者が一定数存在している。

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

基本分析による現状把握から見える主な健康課題

対策の方向性

<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者数は男性が約74%と多い ・特に30代、40代の男性が多い構成である ・被扶養者数は子供を除くと女性が多い ・55歳から1人あたりの医療費が高くなる ・生活習慣病系疾患の医療費が高い ・被保険者における前項はより顕著である ・特に55歳から生活習慣病の医療費が高くなる 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防対策が必要である ・若年のうちから生活習慣病に関心を持ってもらい生活習慣改善に取り組んでほしいので情報提供や運動促進の取組を全体にむけて実施したい ・前期高齢者対策は生活習慣病予防対策を基本とする
<p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被扶養者においては生活習慣病以外では乳がんの医療費が1位にきていることが確認できる ・子供を中心とした喘息の医療費も高い 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・乳がんの対策として乳がん健診の受診率を高める必要がある ・喘息への対策は健保としては容易ではない
<p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の特定健診受診率は85.8% ・被扶養者の特定健診受診率は23.9%と低い ・特定保健指導の実施率も低い 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率を高めるための施策の検討 (事業主定期健診結果データ回収、被扶養者の受診率向上) ・被保険者を中心に特定保健指導を確実に実施する
<p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病リスクが高リスクである者が一定数存在している ・医療機関未受診かつ高リスク者もいる 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・高リスク者への対応も可能な範囲で実施したい ・少なくとも超高リスクの未受診者は減らしたい

STEP 2 健康課題の抽出

「全健保組合共通様式」

特徴		対策検討時に留意すべき点	
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> ・総合健保で、1事業所の平均人数は約40人。 ・文具・情報関連の事業所で構成され被保険者は約18,500人全国40都道府県に点在している。その内30～40歳代の人数が最も多く、被保険者の6割を占めている。 ・被保険者の平均年齢は40.59歳となっている。 ・10人未満の事業所が40%強ある。 	▶	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が多いため、各種事業について事業主との情報共有・周知や近畿圏外者への対応などに留意する。 ・近畿圏以外の居住者へのサービスに格差が大きく生じないように配慮しながら対策を検討する。
	保健事業の実施状況 <ul style="list-style-type: none"> ・予防可能な疾病を未然に防ぎ医療費の削減・健康の保持増進を図ることを基本的な考えとしている。 ・特定健診事業において家族の受診が年々減少している。 		▶

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算 科目	注1) 事業 分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施 主体	実施計画			目標（達成時期：平成29年度末）				
				資格	対象 事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム			
職場環境の整備																	
加入者への意識づけ																	
保健 指導 宣伝	4	既存	機関誌発行	【目的】健康啓発、健康情報、保健情報の提供 【概要】機関誌（健保だより）発行	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	継 続 （紙面の内容について工夫する）	継 続	継 続	年2回発行	健康保険法・保健事業等周知及び健康意識の向上
	7	既存	ジェネリック医薬品通知	【目的】ジェネリック医薬品の利用促進 【概要】8か月毎に通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	35	～	74	全員	1	継 続 該当者にジェネリック医薬品の利用促進 8か月毎に通知	継 続	継 続	対象者を拡大	ジェネリック医薬品に変更する事で医療費の削減
	7	既存	健康管理事業推進委員会	【目的】健康管理事業推進委員より被保険者のニーズを取入れ検討する 【概要】年1～2回開催	被保険者 被扶養者	全て	男女	18	～	74	全員	1	継 続 （出来るだけ年2回の開催をし、事業検討をする）	継 続	継 続	被保険者から生の声を聞き、事業に入れる	行事への参加率アップ
	7	既存	医療費通知	【目的】医療費情報の提供と請求錯誤（疑）情報の収集 【概要】4か月毎に通知	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	継 続 （毎年継続実施中）	継 続	継 続	通知することにより自分の医療費に関心を持つ	誤請求の防止
個別の事業																	
特定健康 診査 事業	1	既存 （法定）	特定健診（被保険者）	【目的】生活習慣病の予防、改善を図る 【概要】メタボリックシンドロームの予防、改善に重点を置いた生活習慣病予防	被保険者	全て	男女	40	～	74	全員	1	当該年度から受診者負担額改定し受診者数減少が危惧されるため未受診者へのPRに注力する	継 続	継 続	受診率の向上を目指す	生活習慣病の予防・疾病の早期発見・早期治療が可能となり、情報提供群から特定保健指導への悪化率の減少
	1	既存 （法定）	特定健診（被扶養者）	【目的】生活習慣病の予防、改善を図る 【概要】近総協共同事業の巡回健診や集合契約の健診機関を活用したメタボリックシンドロームの予防、改善に重点を置いた生活習慣病予防	被扶養者	全て	男女	40	～	74	全員	1	被扶養者も受診者負担額改定し受診者数減少が危惧されるため未受診者へのPRに注力する	継 続	継 続	受診率の向上を目指す	生活習慣病の予防・疾病の早期発見・早期治療が可能となり、情報提供群から特定保健指導への悪化率の減少
特定保健 指導 事業	3	既存 （法定）	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドロームの原因である生活習慣病の改善指導 【概要】特定健診での基準対象者に対し、面談等を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	40	～	74	基準 対象 者	1	更なる事業主の理解、協力を得て事業所への訪問指導件数の増加を図る	継 続	継 続	受診率の向上を目指す	メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少
保健 指導 宣伝	7	既存	家庭常備薬斡旋	【目的】傷病の早期対応、セルフケアを促すために実施。自己管理意識の向上 【概要】常備薬の購入斡旋	被保険者 被扶養者	全て	男女	0	～	74	全員	1	継 続 家庭や職場常備薬として購入できるように極力安価に斡旋	継 続	継 続	薬を常備しておく事で自己管理意識の向上	薬を常備しておく事で軽微な医療費の削減

STEP 3 保健事業の実施計画

「全健保組合共通様式」

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					注2) 実施主体	実施計画			目標 (達成時期 : 平成29年度末)		
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		平成27年度	平成28年度	平成29年度	アウトプット	アウトカム	
疾病予防	1	既存	人間ドック	【目的】がんなどの疾病の早期発見のため 【概要】健診費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	全員	1	継続 組合負担額を改定	継続	継続	受診率の向上を目指す	生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療が可能となり、健康意識の高揚が図れる
	1	既存	生活習慣病健診	【目的】生活習慣病の予防のため 【概要】健診費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	35 ~ 74	全員	1	継続 受診者負担額を改定	継続	継続	受診率の向上を目指す	生活習慣病の予防、疾病の早期発見・早期治療が可能となり、健康意識の高揚が図れる
	1	既存	定期健診	【目的】健康管理のため 【概要】健診費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	継続 受診者負担額を改定	継続	継続	受診率の向上を目指す	健康状態の把握ができ健康管理に寄与
	7	既存	婦人科健診	【目的】乳がん・子宮がんの早期発見・早期治療 【概要】35歳以上の被保険者および被扶養者を健診対象とし費用の一部を補助	被保険者 被扶養者	全て	女性	35 ~ 74	全員	1	継続 婦人科健診の重要性について機関誌等を活用し広報を行い、契約機関の増設を図り受診環境整備に努める	継続	継続	受診率の向上を目指す	早期発見・早期治療によりがん治療等の医療費を削減
	7	既存	メンタルヘルスカウンセリング	【目的】心身の健康づくりのために実施 【概要】電話・面接によるメンタルケア	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	継続 精神疾患の予防・緩和対策として実施するも相談件数の減少傾向に対し積極的なPRを行う	継続	継続	機関誌・ホームページ等でPRを強化	面談によりメンタル疾患にかかる医療費・傷病手当金を抑制
	7	既存	インフルエンザ予防接種	【目的】季節性疾患の罹患予防・軽減 【概要】費用の一部補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ~ 74	全員	1	継続 冬場の季節性疾患の罹患軽減や予防対策のPR。 予防接種に費用の一部を補助	継続	継続	予防接種することで重症化の予防	重症化を予防することで休業等の業務への支障が減り保険給付が最小限に抑えられる
体育奨励	7	既存	健康ウォーキング	【目的】健康増進、健康意識向上のため 【概要】1日10,000歩、3ヵ月で100万歩を目標 年2回開催 (5月~7月、9月~11)	被保険者 被扶養者	全て	男女	18 ~ 74	全員	1	継続 (さらに魅力ある事業にするためWEBの活用など検討)	継続	継続	より良い企画を目指し実施方法の見直しを検討	参加者のモチベーションアップを図る
	4	新規	スポーツクラブの利用促進	【目的】健康の増進 【概要】スポーツクラブとの契約により入会金の免除、利用料の割引等を実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	15 ~ 74	全員	1	新規・・・キャンペーン等利用促進の周知を図る	継続	継続	関西地区に施設は少ないが利用率向上を目指す	運動することによりメタボリックシンドローム該当者の減少
その他	7	既存	契約保養所	【目的】加入者の健康保持増進及び保養 【概要】かんぼの宿、ダイワロイヤル、他2施設と直接契約の他JTB等旅行会社とも契約し利用補助金を交付	被保険者 被扶養者	全て	男女	4 ~ 74	全員	1	継続	継続	継続	利用者の増加	健康増進

注1) 1. 健康診査 2. 健康診査後の通知 3. 保健指導 4. 健康教育 5. 健康相談 6. 訪問指導 7. その他

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業